



令和5年度学校経営計画

江田島市立大柿中学校

I ミッション（地域社会における自校の使命・存在意義）

生涯を自立的に生き抜き、未来を切り拓くために必要な資質・能力の育成

II ビジョン（目指す学校像・自校の将来像）

- 「美しく整った環境」をつくり続け、「レジリエンス」を育て、「全ての生徒の学力向上」を目指す。
- 教育活動全体を通して、次の資質・能力の育成を図る。下線は重点
 - 1【課題発見・解決力】自分で課題を立て、情報を集め、整理分析して、まとめ表現する力
 - 2【レジリエンス】困難な壁にぶつかっても心の折れない力（心の回復力）
 - 3【協調性】他の人と一緒に助け合ったり、譲り合ったりしながら、同じ目標に向け、やり遂げようとしたり、新たな解決策を生み出したりしようとする意欲や態度
 - 4【高い志】より高い目的や目標を定め、それを達成するために努力しようとする意志と行動

III 現状分析

【知：確かな学力】

- ・授業規律面では大きな課題がなく、落ち着いて授業に臨んでいる。「他者の考えを受け入れ自分の考えを深める（89.3%）」は高いが、「進んで考えを発表する（39.3%）」、「根拠をもとに、相手に分かりやすく考えを伝える（66.1%）」について課題が見られた。
- ・学力調査結果から、全国平均との比較では3学年英語以外の教科が上回る状況であった。思考・判断・表現の問の正答率で目標値を向上している教科の割合は60%で、昨年度30%より大きく向上した。

【徳：豊かな心】

- ・生徒に落ち着きが見られ、自ら進んで挨拶が出来る生徒(92.9%)が多い状況である。
- ・地域清掃等のアダプト活動や奉仕活動などで進んで貢献活動をする生徒はほとんど全校生徒であり、参加生徒の満足度は約82.1%である。
- ・昨年度、不登校生徒が3年1名、2年0名、1年5名と一昨年度と同じ人数で高い割合である。心の面などで人間関係を築きにくい状況や生活面等の課題が見られた。しかし、SSRの取組を通して、目標をもって努力する場面が見られてきたことや、保護者との連携において、教職員やSC、関係機関等との連携を深めることができるようになってきている。

【体：すこやかな体】

- ・体力・運動能力について、全体的に立ち幅跳びに課題がある。特に2年生女子、3年生男子に課題がある。
- ・9時以降のメディアを使用しない働きかけ（『ストップ9』）は約30%程度で一昨年度より大きく下がった。

IV 目標及び取組

【学校教育目標】 「誠」を校訓として、人間性豊かな、たくましい生徒の育成につとめる

【スローガン】 ～「時を守り」「場を清め」「礼を正す」～

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
知	主体的に学ぶ生徒の育成 【学力】	基礎・基本の確実な定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的・計画的な家庭学習の工夫 ・定期的な確認テストの実施 ・確認テストによる個別指導（補充学習）
		思考力、判断力、表現力を鍛える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの効果的な活用による授業改善 ・思考が深まる授業づくりの推進【発問の工夫】
徳	自己実現と社会貢献を図る基礎の育成 【規律】【自己実現】【貢献】	行動三原則の徹底を図る。（「時間」「あいさつ」「返事」）	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除開始の時間厳守と活動に見通しをもたせる指導の充実 ・あいさつ、返事の指導の徹底・生徒会によるあいさつ運動
		不登校生徒への取組を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員を中心とした学校全体での組織的な取組の充実 ・教育相談体制の充実
		貢献活動をとおり自己有用感を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心としたボランティア活動の充実 ・地域活性化のための取組の充実
体	体力の向上と生活習慣の改善 【運動習慣・体力】	体力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・部長会の充実と部活動の活性化 ・保健体育委員会を中心とした体育的活動の充実
		基本的な生活習慣の改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・元気しらべの充実 ・情報モラルに関する指導の充実
信頼される学校	「公開性」「学校組織マネジメント」の確立	積極的な情報発信を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより、学級通信、HP等をタイムリーに発信
		「働き方改革」を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の平準化・部活動休養日の完全実施 ・各活動の見直しと早期の起案



令和5年度 大柿中学校経営方針

【学校の使命】 生涯を自立的に生き抜き、未来を切り拓くために必要な資質・能力の育成

【学校教育目標】「誠」を校訓として、人間性豊かな、たくましい生徒の育成につとめる
～「時を守り」「場を清め」「礼を正す」～

こんな学校をめざします

こんな生徒を育成します

知・徳・体をバランスよく育成し、
地域・保護者・生徒から信頼される学校
【「美しく整った環境」をつくり続け、「レジリエンス」を育て、「全ての生徒の学力向上」を目指す】
1 授業を大切にし、学力・体力・主体性を伸ばす学校
2 部活動が充実し、活気があふれる学校
3 規律があり、挨拶、笑顔があふれ安心できる学校
4 地域を大切にし、貢献できる学校
5 協力・協働し、新たなことに挑戦し前進する学校

人間性豊かな、たくましい生徒 下線は重点
1 主体的に学ぶ生徒【課題発見・解決力】
2 困難な壁にぶつかっても心の折れない生徒【レジリエンス(心の回復力)】
3 他の人と協力・協働して、目標達成に向けてやりとげようとする生徒【協調性】
4 より高い目的や目標を定め、それを達成するために努力する生徒【高い志】

保護者

私たちはこんな教職員になります
生徒に対する教育的愛情と教育に対する使命感をもっている。

- 1 確かな授業力を身に付けている教職員
- 2 豊かなコミュニケーション能力を有している教職員
- 3 他の教職員と連携・協働し、組織的に職務を遂行できる教職員
- 4 新たなものに積極的に挑戦する意欲をもっている教職員

地域

【本年度重点項目】

- 学力 主体的に学ぶ授業と家庭学習(自学)の定着(学力の向上・ICTの効果的活用)
- 行動三原則 時間を守る, 環境を美しく整える, 挨拶・返事をする(社会性の育成)
- 自己実現 個の長所や進歩, 努力を認め, 自分のよさに気付かせる支援(自己肯定感の向上)
- 貢献 学校や地域への積極的な貢献活動(自己有用感の醸成)
- レジリエンス(心の回復力) 全教育活動を通して育成する(レジリエンス・マッスルの育成)

基本的な大柿中生徒の姿

規律

授業規律

- 着ベル・瞑目
- 深い礼・正しい姿勢
- 「はい」の返事

あいさつ

- 授業開始終了しっかりと
- 来客へ自らさわやかに
- 地域で自らさわやかに

学びの姿勢(授業)

- 学び合いで考えを深める
- 自分の考えを表現する
- 自らの学びを振り返る

環境美化

- 時間いっぱい黙って掃除
- ロッカーの整理・整頓

運動習慣・部活動

- 昼休みに体を動かす
- 心技体の向上をめざす

家庭学習

- 毎日取り組む
- 工夫して学習する
- ICT機器を活用する

学力

貢献活動

- ボランティア活動に参加する
- 小中連携行事を頑張る
- 地域活性化に寄与する

貢献